

つむぎ子ども教室通信 7月号(2024年)

認定NPO法人ムーミンの会

TEL : 045-253-1203

FAX : 045-309-5805

本部携帯 : 090 - 2325 - 2114

楽しく遊ぶため
に、夜はしっかり
寝よう!



毎日暑い日が続いています。すっかり夏の気温ですね。毎日汗をかきながら、つむぎの子どもたちは元気に遊んでいます！7月は待ちに待った夏休み♪今年の夏も、体調を崩さず最後まで元気に楽しく過ごしましょう！



日 月 火 水 木 金 土

	1	2	3	4	5	6
	七タウィーク(制作・飾り付け)					
7	8	9	10	11	12	13
	道徳ウィーク(いろいろ考えてみよう)					
14	15 海の日	16	17	18	19	20
	おやつ作りウィーク					
21	22	23	24	25	26	27
	認識あそびウィーク					
28	29	30	31			
	お掃除ウィーク					

- ※ おやつ作りウィーク中は、エプロン・マスク・三角巾をお持ち下さい。
- ※ 子どもの様子を見て、予定を変更する場合がございます。
- ※ 平日療育と上記の月案は、内容が異なります。



7月・8月の予定

7月 6日(土) AM 中高生イベント

PM つむぎ会

20日(土) 土曜療育

8月13日(火)~16日(金) 夏季休業(つむぎはお休みです)

24日(土) 放デイ夏休みイベント



夏休みについて



22日(月)の週より夏休みが始まります。

☆引き続き暑い日が続きますので、利用日当日は、着替えや水分(水筒 たっぷり)、帽子とひんやりタオルなども忘れずに持たせてください。
☆おやつ作りや、プール遊びを行うこともありますので、エプロンや水着なども忘れないようにお願いします。

☆汗をかく時期です。着替えなども毎日お持たせください。

エプロンと着替えについては、毎日の持ち帰りが大変な方は置いておくことも可能ですので、職員にご相談ください。

※おやつ作りウィーク以降の夏休み期間中は、毎日おやつ作りを行いますので、毎日エプロン・三角巾・マスクをお持たせください。

※夏休み中のおやつ作り、プール遊びの日程などは決まり次第、追ってお知らせ致します。



8月夏休みイベントについて

8月24日(土)に行われる、「つむぎチャレンジポッチャ&ミニ屋台でランチ」のイベントの参加申し込み期日が7月5日(金)までとなっています。ご家族で是非ご参加ください。





ロマンスカー ミュージアムに 行ってきました



○療育日誌○



6月8日土曜日、第1回中高生イベントとして海老名駅すぐにあるロマンスカーミュージアムに5名で出かけてきました！

当日はとても良いお天気☀️西横浜駅から相鉄線に乗り、約40分で海老名に到着。この日の海老名はお祭りもあったようで、とにかくすごい人でしたが、ミュージアム内は涼しく展示室も落ち着いていて、ゆったりと楽しむことができました！

ロマンスカーの歴史や実際の車両の展示、車両に乗り込むこともでき、みんな笑顔で記念写真♪1フロア全体に広がるジオラマパークでは、ロマンスカーの走る新宿～小田原・箱根間の様子を見ることができました。建物の明かりや、プロジェクションマッピングと音楽で再現されたロマンスカーの旅。とても迫力があり、皆じっくりと見入っていました。ミュージアム横には素敵なカフェもありました♡今回は時間の都合で立ち寄ることができませんでしたが、皆さんぜひ行ってみてくださいね！



左右の靴を一人で脱ぐこと。できるようになってしまうとできなかった頃のことを忘れてしまいそうになりますが、できるようになるために子どもたちは一所懸命に練習を積み重ねています。

3歳のAちゃん。靴を脱ぎたくて靴の底を両手で持って一所懸命引っ張っています。でも靴のテープ二本を外さなければ脱ぐことはできません。そこで大人がAちゃんの手をとり、「靴を脱ぎたいのね。最初にテープを外そうね」と声をかけて一緒に一本目のテープを外しました。早く靴を脱ぎたいAちゃんは、二本目のテープが外れていないにもかかわらず靴の底を両手で持って力いっぱい引っ張りました。Aちゃんが自分で脱ごうとする意欲は素晴らしく、表情は真剣です。そんなAちゃんの意欲を褒めながら、またAちゃんの手に大人の手を添えて二本目のテープを外します。するとAちゃんは両手でスポンと靴を脱ぐことができました。その瞬間、Aちゃんは晴れやかな笑顔！右の靴が脱げたら今度は左の靴に挑戦です。さっきと同じようにテープを外せばよいのですが、右と左ではテープを外す向きが異なり、靴全体の見え方、テープを外すために必要な指の使い方や力の入れ加減などが異なります。「一度みたらわかるよね、右も左も同じだからできるでしょう」と言いたくなりますが、子どもにとってはそうではないのです。身辺自律に関わる行為が一人でできるようになるためには、何を理解し何を理解していないのか、何ができていて何ができていないのか、左右の手の動き方の違い、力の入れ具合の違い、身体全体の動きの状況などを把握し、どのように手助けをすればよいのかを判断する必要がありますね。まずは一人ひとりを丁寧に見つめることを大切に、成長につながる支援を行っていきたいと思います。(Y・T)

